

ふるさと案内人だより

■ 「ふるさと発見の旅」発足8年目を迎えて

ふるさと案内人の会会長 佐久間隆司

【ふるさと案内人の会】は、「精華町」を文化的過疎地にしないように、また「精華町」を“住みたい町”“帰りたい町”にしようをスローガンに、平成19年4月に発足しました。それ以来、「ふるさと発見の旅」を春・秋の年2回実施し、発足8年目を迎える今年の春の【春爛漫の里山 巡礼記の道、古墳、いちご園 菱田～僧坊～谷集落を辿る旅】で「ふるさと発見の旅」は15回目を数えるに至っております。

また昨年からは、毎月22日午前中半日の「せいか小さな旅」という案内を企画実施し、おかげさまで、認知度も徐々に上がりリピーターの方々が増え、昨年度1年間「ふるさと発見の旅」「せいか小さな旅」を合わせた延べ参加者数も523名を数えるに至りました。

昨年度から「ふるさと発見の旅」「せいか小さな旅」の参加者にスタンプカードをお渡しし、各回参加された方にスタンプを押印し、スタンプの数が12個揃った方に【お楽しみ券】をお渡しすることと致しました。この5月には既に3名の方にお渡ししております。この【お楽しみ券】は、シルバーで催されているサロンでコーヒー2杯、または、シルバー堆肥10kg1袋と交換できるもので、この企画を実施することにより、なお一層リピーターの方が増えるものと期待してお

ります。

私達【精華町ふるさと案内人の会】は、63歳～77歳の男女16名で【楽しくないと続かない】をモットーに、毎月第1・3水曜日13:30～15:30、シルバー人材センター会議室で、案内箇所の検討・下見・勉強会をしております。活動内容の面白さとしては、地元のごく一部の人たちが伝えてきた事柄の掘り起し、新しい発見が一年に数件程度あります。この感激とワクワク感を、私たちと一緒に体感してみませんか、興味のある方は是非一度覗いてください。

スイスの心理学者ユングが、人の幸福の条件として五つ挙げており、その中に「④人間関係が豊かであること、⑤朝起きた時やるべき仕事があること」を挙げており、ぜひ【ふるさと案内】に入会して人間関係を豊かにし、朝起きてその日一日のする事を見つけてください。

ちなみにあとの3つの条件は、①心身ともに健康であること、②自分で程良いと思う程度のお金を持っていること、③美しいことを知る能力や 感動する能力があることだそうです。



小さな旅 乾谷



小さな旅 山田川



小さな旅 柘榴里山



ふるさと発見春の旅